

スポーツ面

第14回近畿中学校スキー大会

- 《男子クロスカントリー入賞者》
 - 第1位：和田健吾（高島中3年）
 - 第2位：浦島隼利（朽木中2年）
 - 第3位：荒木和徳（マキノ中3年）
 - 第4位：谷田 智（安曇川中3年）
 - 《女子クロスカントリー入賞者》
 - 第1位：林美沙希（安曇川中3年）
 - 第2位：福田 楓（今津中3年）
 - 第3位：岩佐志保（今津中3年）
 - 第5位：木下美里（今津中3年）
- 第45回全国中学校スキー大会
- 《大回転、回転》
- 松本匡史（マキノ中1年）
 - 青地雄史（今津中2年）
 - 地村美鈴（安曇川中3年）
 - 《クロスカントリー》
 - 和田健吾（高島中3年）
 - 浦島隼利（朽木中2年）
 - 荒木和徳（マキノ中3年）
 - 谷田 智（安曇川中3年）
 - 三宅雄大（安曇川中1年）
 - 林美沙希（安曇川中3年）
 - 木下美里（今津中3年）
 - 福田 楓（今津中3年）
 - 岩佐志保（今津中3年）
 - 三矢佳奈恵（高島中2年）
 - 安原沙恵（安曇川中1年）

《リレー》

（男子） 和田健吾・浦島隼利

・荒木和徳・谷田 智
（女子） 林美沙希・木下美里

○平成19年度全国高等学校

総合体育大会スキー競技大会

《ジャイアントスラローム》

藤原 海（高島高1年）

《スラローム》

岩本和博（高島高2年）

《クロスカントリー》

宮下琢也（安曇川高2年）

林 良磨（高島高2年）

松宮幹乗（高島高1年）

土藏末佳（高島高1年）

笠原由衣（高島高1年）

○第63回国民体育大会

冬季大会スキー競技会

《アルペン少年男子》

藤原 海（高島高1年）

《クロスカントリー少年男子》

荒木和徳（マキノ中3年）

和田健吾（高島中3年）

松宮幹乗（高島高1年）

林 良磨（高島高2年）

宮下琢也（安曇川高2年）

《クロスカントリー成年男子》

中村悠哉（高島）

平島翔太（高島）

石黒貴也（高島）

《クロスカントリー少年女子》

林美沙希（安曇川中3年）

土藏末佳（高島高1年）

笠原由衣（高島高1年）

《クロスカントリー成年女子》

鳥居一恵（今津）

兼田美穂（高島）

《監督》 青台正章（マキノ）

○第20回全国高等学校選抜スキー大会

《クロスカントリー》

宮下琢也（安曇川高2年）

林 良磨（高島高2年）

松宮幹乗（高島高1年）

土藏末佳（高島高1年）

笠原由衣（高島高1年）

○JOCジュニアオリンピックカップ

スキー選手権大会

《クロスカントリー》

宮下琢也（安曇川高2年）

足立真理（安曇川高1年）

林 良磨（高島高2年）

松宮幹乗（高島高1年）

土藏末佳（高島高1年）

笠原由衣（高島高1年）

吉谷美帆子（高島高1年）

○第19回全国高等学校選抜ボート大会

《男子シングルスカル》

杉嶋俊幸（高島高2年）

○第23回全国高等学校ウエイト

リフティング競技選抜大会

《105kg級》

高橋一平（安曇川高2年）

○第39回全国高等学校

バレーボール選抜優勝大会

高島高校バレーボール部男子

（2年）

白井翔太、田野功大良

今西創大、中島章博

清水 誠、橋本翔太

（1年）

保木裕介、伊藤翔太

小原一樹、窪田健大

吹田貴文、荻野誠也

淵田力也

○第80回記念選抜高等学校野球大会

〔北大津高校野球部〕

保木洋太（3年・湖西）

岡田有吾（3年・湖西）

兼田大暉（3年・高島）

○第19回都道府県対抗

全日本中学生ソフトテニス大会

饗庭一真、井上敬登

伊場菜恵、岸田恵美

平井継美（以上安曇川中2年）

池田遥花（高島中2年）

○第7回全国小学生ソフトテニス大会

伊場勝星、山本大地

堀部達也（以上安曇小5年）

山下亮太（広瀬小5年）

※2年連続出場

備えて 守る

「デジタル」から地震対策を！

緊急情報の伝達方法統一で より速く、より詳しく、より確実に知らせ

建物火災をはじめ、予期せぬ災害など緊急事態に対処するためには、まずは迅速な情報の伝達が必要です。

昨年運用を開始した防災無線統合システムの機能を活かし、より迅速な情報の伝達を図るためには、地域ごとに少しずつ違う現在の緊急情報の伝達方法では十分ではありません。

そこで、4月1日から、防災無線を核とし、支所庁舎等に設置されている

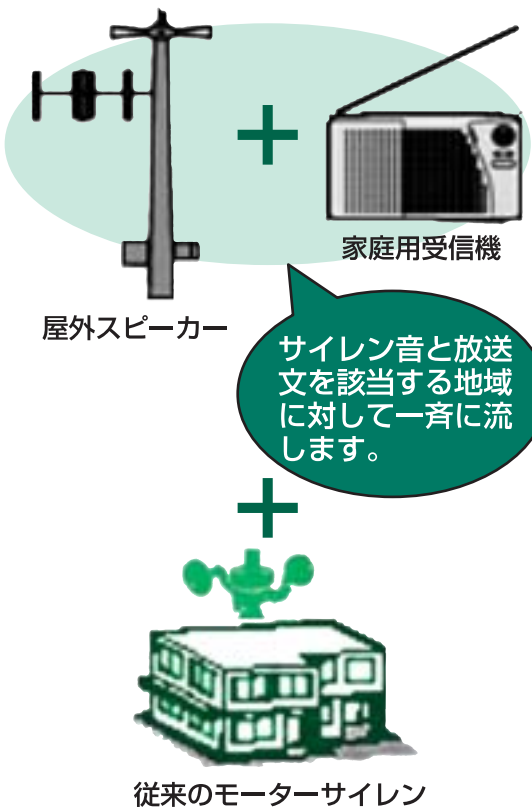
モーターサイレンやメール配信システム「リアルタイム高島」などを組み合わせた情報伝達方法に統一し、必要な情報を速やかに、より詳しく、そして確実に皆さんにお知らせします。

なお、現在、正午にサイレンと防災無線のチャイムを併用して鳴らしていますが、緊急時の情報伝達方法の統一により、4月1日からは防災無線のチャイムのみになります。

いつ起こるか分からない災害は、行政だけでは十分に対応できません。いざという時のために、皆さん一人ひとりの日ごろからの心構えが大切です。このコーナーでは、災害時に役立つ情報や対策などを紹介します。

防災行政無線からの緊急時の情報伝達方法の統一

建物火災を含む緊急時の防災行政無線による放送は、次のように統一します。



119番

消防+救急救命士とは？



救急救命士は、救急患者に対して救急車が病院に到着するまでの間、医師の指示のもとで救急救命処置を行うことができます。近年の処置拡大により、認定を受けた救急救命士に限り気管挿管、薬剤投与を行うことも可能となりました。

救急車に乗車し活動するほか、更なる技術の向上を図るため、公立高島総合病院で実習も行っています。また、119番通報を受信してから救急隊が現場に向かう間に、救急患者の容態に応じた応急手当のやり方などについて口頭指導も行っています。

1月の火災・救急・救助 件数

()内は年累計

▼火災

建物火災/2(2) 車両火災/0(0)
林野火災/0(0) その他火災/0(0)

▼救急

交通事故/24(24) 一般負傷/30(30)
急病/123(123) その他/29(29)

▼救助

火災/1(1) 交通事故/0(0)
水難事故/0(0) その他/0(0)

(注)【救急】その他=火災+労働災害+運動競技+加害+自損行為+転院搬送等